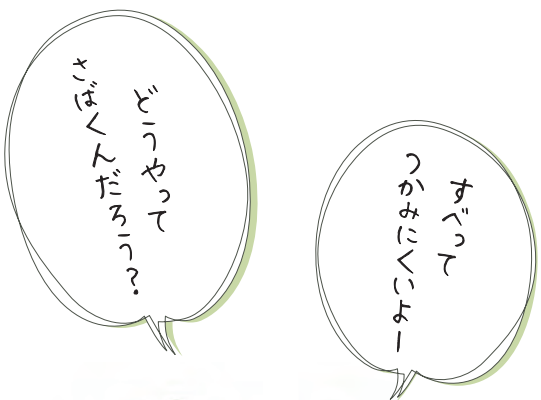




講師の話真剣に聞く参加者の生徒たち

1_ 2泊3日の長時間の研修だったが最後まで充実した時間を過ごした 2_ 全プログラムを終了後に記念撮影 3_ 菊池川の河原でニジマスのつかみ取り 4_ 初めて会った他校の生徒たちと楽しい昼ごはん 5_ ナイスキャッチ! 6_ 力を合わせてグループワーク



森の学校・きくち 未来のリーダーを目指して

菊池市の中学生が参加する「森の学校・きくち」が、8月8日から10日にかけて県立菊池少年自然の家で開催されました。

市内の4中学から27人が参加

「目指せきくちの未来のリーダー!!」と題したこの取り組み。福島県会津若松市で2013年から開催されているフランチナ未来育成塾の菊池版として計画されたものです。日本や世界を舞台に一線で活躍する人たちの講演を聴くほか、多様な考えを持つ同世代と寝食を共にすることで、生きる力や未来のリーダーとしての素養を育てるという目的の下、市が初めて企画しました。

同世代の仲間とさまざまな体験

初日は生徒間の交流を深めるため、野外活動を実施しました。ニジマスのつかみ取りでは川へ移動。「ぬるぬるしてる」「逃げられちゃった」と悪戦苦闘しながらも、なんとか捕まえることができました。取った魚はその場でさばき、焼いて食べるまでを体験。参加した生徒は「つかみにくかったが、それが逆に楽しかった」「自分の手でさばいたことで、命のありがたみを知れた」など感想を述べていました。

2日目からは講義が開始。兼元俊徳さん(元内閣情報官、元熊本県警本部長)、菊池唯夫さん(ロイヤルホスト最高経営責任者)、西野智彦さん(TBS報道局長)といった講師陣が、自身の体験談や苦労話などを話ししました。西野さんは報道の現場をわかりやすく解説。知ったかぶりをしないこと

など、人生についてのアドバイスもしていました。質疑応答では各回とも活発に質問が飛び交い、グループワークでは、各講義を振り返りながら自分の将来の夢について考えました。どの班も活発に意見を出し合う姿が見られるなど、生徒たちは積極的な姿勢を見せていました。

将来の夢を決めるヒントに

菊池南中1年の米村昇悟さんは「経営に興味があったので、貴重な経験になった」とも充実した3日間。参加して良かった」と振り返りました。一連のプログラムには、学生スタッフ6人も参加。「中学生から学ぶことも多かった」「初めはペンが動かなかった子も、翌日にはみんなの前で発表していた。中学生の伸び方は凄い」と参加者の成長を実感していました。